

# 全国で「注意報レベル」超え

## インフルエンザの流行が拡大しています！

### インフルエンザの感染状況

インフルエンザの注意報の目安となる定点あたりの報告数が10を超える地域が全国的に増加しており、2023年第5週(1/30~2/5)の定点当たり報告数は12.66(患者報告数62,583)となり、前週よりも増加。都道府県別では**沖縄県(47.18)**、**福井県(35.46)**、**大阪府(29.91)**、**京都府(27.02)**、**福岡県(24.30)**、**石川県(22.92)**、**宮崎県(22.33)**、奈良県(19.42)、佐賀県(18.92)、兵庫県(16.96)の順となっています。国内のインフルエンザウイルスの検出状況を見ると、直近の5週間(2023年第1週~第5週)では、**AH3亜型**が205件(96%)と最も多く報告されており、次いでAH1pdm09が7件(3%)、B型が2件(1%)の順であった。

また、インフルエンザ患者の入院報告数は190例あり、前週(175例)から増加しています。

年齢別では1歳未満(9例)、1~4歳(47例)、5~9歳(48例)、10代(20例)、20代(4例)、30代(2例)、40代(3例)、50代(5例)、60代(13例)、70代(10例)、80歳以上(29例)と、10歳未満で約半数を占めています。

### インフルエンザと新型コロナ（症状・重症化リスクについて）

新型コロナとインフルエンザには咳やのどの痛み、鼻水、発熱、関節痛、倦怠感など、共通する症状があり、症状だけでは区別が付きません。新型コロナでは若い人では重症化するケースが少ないですが、インフルエンザにおいては、乳幼児でインフルエンザ脳症や肺炎など重症化するリスクが高くなります。

**特に重症化しやすい人は、早期に受診してどの感染症なのか区別して治療をするための検査が必要です。**

#### 新型コロナ・インフルエンザに共通した重症化リスク

肥満 妊婦 高齢者 基礎疾患のある方



#### インフルエンザのみの

重症化リスク

乳幼児



下記の重症化サイン（症状）がみられる場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

#### 重症化のサイン

##### お子さんでは

- けいれんしたり呼びかけにこたえない
- 呼吸が速い、苦しそう
- 顔色が悪い(青白)
- 嘔吐や下痢が続いている
- 症状が長引いて悪化してきた

##### 大人では

- 呼吸困難、または息切れがある
- 胸の痛みが続いている
- 嘔吐や下痢が続いている
- 症状が長引いて悪化してきた